

第5期 雄武町総合計画 後期実施計画書 兼 事務事業評価調書

様式1

No. 09000120

政策目標	1 はつらつ・雄武～地域産業の振興～	会計区分	1 一般会計	【全体計画内容】※後期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載 平成26年度～平成30年度 全体事業費 97,133千円
基本施策	1 農業の振興	事業優先度	A	
単位施策	5 農業による地域の活性化	政策事務分類	1 単独自治事務(例規)	
事業名	多面的機能支払制度	見直し年度		
事業期間	平成26年度～平成29年度	担当課	9 産業振興課	
事業主体	雄武町	関係課	13 農業委員会	
事業指標	協定農地面積		#N/A	
事業目標	8,032ha	ハード/ソフト 事業区分	2 ソフト事業	
住民参加	無	関係例規・法令名		
住民協働		関係個別計画名		

115	全体計画 事業内容	平成 25 年度 事業内容	平成 26 年度 事業内容	平成 27 年度 事業内容	平成 28 年度 事業内容	平成 29 年度 事業内容
計 画 内 容	農業農村が有する国土の保全、水源かん養、 景観形成等の多面的機能を確保するため、協 定面積に基づき交付金を交付する。 〔10a 250円〕 ・農道等の維持管理 ・有害鳥獣対策 他		多面的機能支払制度 協定面積 6,400ha 事業費 16,000千円 (道費) 12,000千円 (町費) 4,000千円	多面的機能支払制度 協定面積 8,037ha 事業費 20,092千円 (道費) 15,069千円 (町費) 5,023千円	多面的機能支払制度 協定面積 8,032ha 事業費 20,081千円 (道費) 15,060千円 (町費) 5,021千円 多面的機能支払推進事業 事業費 266千円 (道費) 260千円 (一財) 6千円	多面的機能支払制度 協定面積 8,032ha 事業費 20,081千円 (道費) 15,060千円 (町費) 5,021千円 多面的機能支払推進事業 事業費 266千円 (道費) 260千円 (一財) 6千円
計 画 事 業 費	事業費(千円)	76,786	0	16,000	20,092	20,347
財 源 内 訳	国庫支出金	0				
	道支出金	57,709		12,000	15,069	15,320
	地方債	0				
	その他	0				
実 績 事 業 費	一般財源	19,077	4,000	5,023	5,027	5,027
	事業費(千円)	44,529	0	3,991	20,192	20,346
	国庫支出金	0				
	道支出金	30,520		30	15,169	15,321
財 源 内 訳	地方債	0				
	その他	0				
	一般財源	14,009	3,961	5,023	5,025	
	特定財源の名称		(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)
○多面的機能支払交付金 ○多面的機能支払推進交 付金	【評価・実績】		(実施内容等) 参加集落1集落 協定面積6,337ha	(実施内容等) 参加集落1集落 協定面積8,037ha	(実施内容等) 参加集落1集落 協定面積8,032ha	(実施内容等)
		※事務事業評価結果	※事務事業評価結果 B-継続/現状維持	※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	※事務事業評価結果
前期計画からの継続	年度目標値		6,400ha	8,037ha	8,032ha	8,032ha
	年度達成率	#DIV/0!	25%	100%	100%	0%
第6期計画への継続	全体達成率	0%	5%	31%	58%	58%
	備考欄					

事業名	多面的機能支払制度	評価者 管理職 職氏名	産業振興課長	横田 和幸
		評価者 作成者 職氏名	農務係長	小野 隆行

様式1
平成28年度実施
平成29年度評価

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	集落の対象農地及び農業用水	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	対象農用地
【抱える課題やニーズは】	農村地域の高齢化や人口減少に伴う集落機能の低下	指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	農業者の共同活動による農地(農道)、農業用水等の地域資源の保全と質的向上	① 対象農用地面積	目標年度 目標値 実績値
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果=目的	地域活動によって支えられる農業、農村地域の多面的機能の発揮		達成度
【内容(どのような手段で何を行ったか)】	集落協定に対する交付金の交付	対象農用地面積を基準とした交付金を交付した。(国50%、道25%、町25%)	平成28年度 8,032 ha
			100.0 %
		②	平成28年度 #DIV/0! %

■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input type="checkbox"/>	義務的なもの	地域活動による農地(農道)、農業用水路等の地域資源の保全と質的向上は、農業、農村地域の多面的機能を発揮するために必要である。
必要/概ね必要	<input type="checkbox"/>	全部	
課題あり	<input type="checkbox"/>	一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効	設定した目標値の達成状況	農業者の共同活動による農地(農道)の補修や水路の適切な維持管理が行われ、地域資源の良好な保全が図られた。
有効/概ね有効	<input checked="" type="checkbox"/> 達成	
課題あり	<input type="checkbox"/> ほぼ達成	
	<input type="checkbox"/> 下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的	判断の理由	計画的な管理と事業実施がされており、道要綱に定められた評価も行われている。
効率的/概ね効率的	<input type="checkbox"/> 事業費抑制	
課題あり	<input type="checkbox"/> 人員削減	
	<input type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減	
	<input checked="" type="checkbox"/> その他	

(4)事務事業の公平性

公平	判断の理由	国の制度に基づいた事業実施であり、農業、農村地域における資源の保全と質的向上につながることから、公平であると判断する。
公平/概ね公平	<input type="checkbox"/> 受益者負担がある	
公平でない	<input type="checkbox"/> 受益者負担がない	
	<input type="checkbox"/> 受益が一部に偏る	
	<input checked="" type="checkbox"/> その他	

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A~D】

A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
B:ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
D:事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A		
計画どおり実施されており、農業者の共同活動による地域資源の保全と質的向上が図られた。		

今後の展開方向
(Action)

継続/現状維持		
農業者自身による取組みが農業資源を保全し、地域活動の推進につながっていることから、今後も交付金の有効活用に努める。		

※展開方向の区分
○継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更
○終了 ○休止 ○廃止